



▶最近導入した最新鋭の機械「パンチ・レーザ複合マシン」。今後は建築関係の製造だけでなく、脱炭素社会に向けた製品づくりに挑む



▶谷川理氏は、経営理念「スゴイ!」をみんなで作る。掲げている。そこには、社員、取引先、お客様、その周りの関係者を含めた全員が「丸」になってものづくりしていることを意識してほしいという思いが込められている



岡山市中区江並387-1
建築向け製作金物の設計・製作・施工ほか
社内容 谷川 理
代表者 平成21年(2009年)
創業 2,500万円
資本金



▶「デザイン・ゴールズ」で製作したティールームは、曲げ加工・c.o.m.で販売されている。カップホルダーやスマホスタンドなど同社のオリジナル製品も販売されているので、ヒネリの利いたギフトにオススメ

本社を江並に移転する際に、大胆な設備投資により金属加工にまつわる多様な機器の導入を図り、試行錯誤の結果、設計から板金、切削、塗装など一連のプロセスに対応できる体制を完成させた。特に、特殊な曲げ加工機を導入したことで螺旋状の製品づくりなども可能となり、製品の高付加価値化や社員のスキル向上にもつながった。

新たなビジネスモデルへの挑戦

建築向けの金物製作はゼネコンからの下請発注が大半であり、その仕事量は安定しないのが通常のこと。谷川氏は平成27年、あえてゼネコン依存からの脱却を目指し、商社から注文を受けるビジネスモデルへ転換した。すると、商社の販売網を通じて全国に流通した同社の製品は、その精緻さ故に注目を集めた。大企業のような既製品ではなく、複雑なデザインでも完全オーダーメイドでできる強みが評価され、関東エリアを中心に空港や商業施設、オリンピック会場施設などの発注が舞い込んだ。

また、「個人の方から、金属製の一点物を発注したいが、どこに相談すればよいかかわからない」という声がありました。そんな敬遠されがちでニッチな市場に進出することで、当社の存在価値を高められる」との思いから、谷川氏はECサイト「曲げ加工・c.o.m.」を開設した。このサイトでは、依頼主が求める製品の図面を送り、予算や詳細を交渉した後に、製作に取りかかる。「想像以上の製品ができる」と口コミで広がったことで、建物のサインや小物雑貨などの注文が増加、現在ではリピーターが7割を占めている。お客様から直接感謝の言葉がもらえることから社員にも好評で、モチベーションアップにつながった。

昨年には、障害のあるクリエイターとプロのデザイナーがチームとなって個性豊かな製品をつくる「デザイン・ゴールズ」にも携わ

り、飲み物を長時間保温できるティールームを製作した。「顧客に寄り添った製品づくりは、今後新たなビジネスチャンスにつながるはず」と自信をもつ。

Made by TANI GAWA を世界へ

同社は平成31年4月、創業10周年記念として「TANI GAWA」に社名変更し、社屋も新調した。「社員一丸とされる雰囲気をつくりたい」という思いから、新社屋は事務所と工場が隣接し、事務所から工場全体が見渡せる風通しの良い構造とした。加えて、緊急事態が生じても迅速な対応が可能となるため、安全性の高い職場を目指している。

また、同社では健康経営に向けて3名の保健師を社員として採用し、常時、保健師による心と体の相談やストレスチェック、健康維持に向けた職場改善が進んでいる。お昼休憩時には同社県外の工場と一体となりオンラインで体操をするという取り組みで、今年度は健康経営優良法人(プライト500)の認定を受けた。さらに、健康経営の取り組みによる離職率の低下や業績向上という実績をもとに、昨年6月、新たに健康経営サポート部を設立し、他社に対し健康経営の導入を手助けする事業も展開している。

7月には本社と県外の工場を受注・生産・出荷を一元管理するシステムを導入し、「おみやまIT経営力大賞」の優秀賞に選ばれた。各工程の手順を「見える化」して作業時間の短縮につなげたほか、紙ベースだった請求書・見積書もクラウド上で管理したことで二重入力も改善した。「今後もITを活用しながら、生産性の向上に努めていきます。そして、経営ビジョン「Made by TANI GAWA」を世界へを目指し、活気あふれる社員の技術力を世界にアピールしていきたい」と熱い思いで語る谷川氏、さらなる飛躍を目指す。